

## モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2002年5月21日

先週の農作業可能日数は州平均 6.5 日であった。降水が無かったことより農作業は進んだが、表土の水分状況は悪化した。降水量不足は今後の小麦の生育に大きな影響を及ぼす。Topsoil の水分は 37% が“適”と報告されているが、62% が“不足及び著しく不足”となっている。冬小麦は全圃場で休眠から覚めた。冬小麦の状態は、Very poor:32%、Poor:29%、Fair:29%であり、平年以上は 10% に過ぎない。(Very poor、poor 等の定義は、日本語版作柄レポート Web page の「概況」:Wheat Growth & Terms にて説明している) 春小麦の播種は進み、70% の圃場にて完了したが昨年並びに平年より遅れている。(昨年同期では 89%、平年：87%)。

2002年5月19日現在

土壌水分：

Topsoil

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
Very short (%)	27	13	48	25
Short (%)	35	28	38	37
Adequate (%)	37	56	14	35
Surplus (%)	1	3	0	3

Subsoil

Very short (%)	46	46	50	25
Short (%)	36	31	35	35
Adequate (%)	18	23	15	35
Surplus (%)	0	0	0	2

小麦作柄：

Winter wheat	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week (%)	32	29	29	9	1
Last week (%)	33	30	28	8	1
Last year (%)	15	30	40	13	2
5-yr. Ave. (%)	6	17	42	31	4

小麦進捗状況：

冬小麦は全圃場で休眠から覚めた。

Spring wheat	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
Seeded (%)	70	46	89	87
Emerged (%)	19	4	52	56

Source: Montana Agricultural statistics Service